

保護者支援の実際

～CRCにおける親子関係再構築支援～

(特) チャイルド・リソース・センター (CRC)



- ◆ 大阪府、堺市（児相）などの委託で被虐待児と保護者に

親子関係再構築プログラム

「CRC親子プログラム ふぁり」を提供

プログラムは2007年からの提供となり、

170組以上の親子が修了している

- ◆ 「安心感の輪」子育てプログラムの提供（DVD教材）
- ◆ 親子と関わる支援者の方々と共に学び、つながる場づくり

プログラム開発まで



児童相談所での保護者支援を経て

- 親子関係再構築に特化した専門的な支援の必要性
- 措置(処遇決定)機関の限界



退職し、カナダのNPOが児童保護機関と協働で提供していたプログラムを参考に開発

大阪府（2007～）、堺市（2015～）児童相談所の委託を受け、これまでに400人以上の親子に提供



CRCの親子関係再構築支援は

「子どもにとっての安心基地」について
親と支援者が共に考えていくプロセス

* 先に家庭復帰ありきではなく

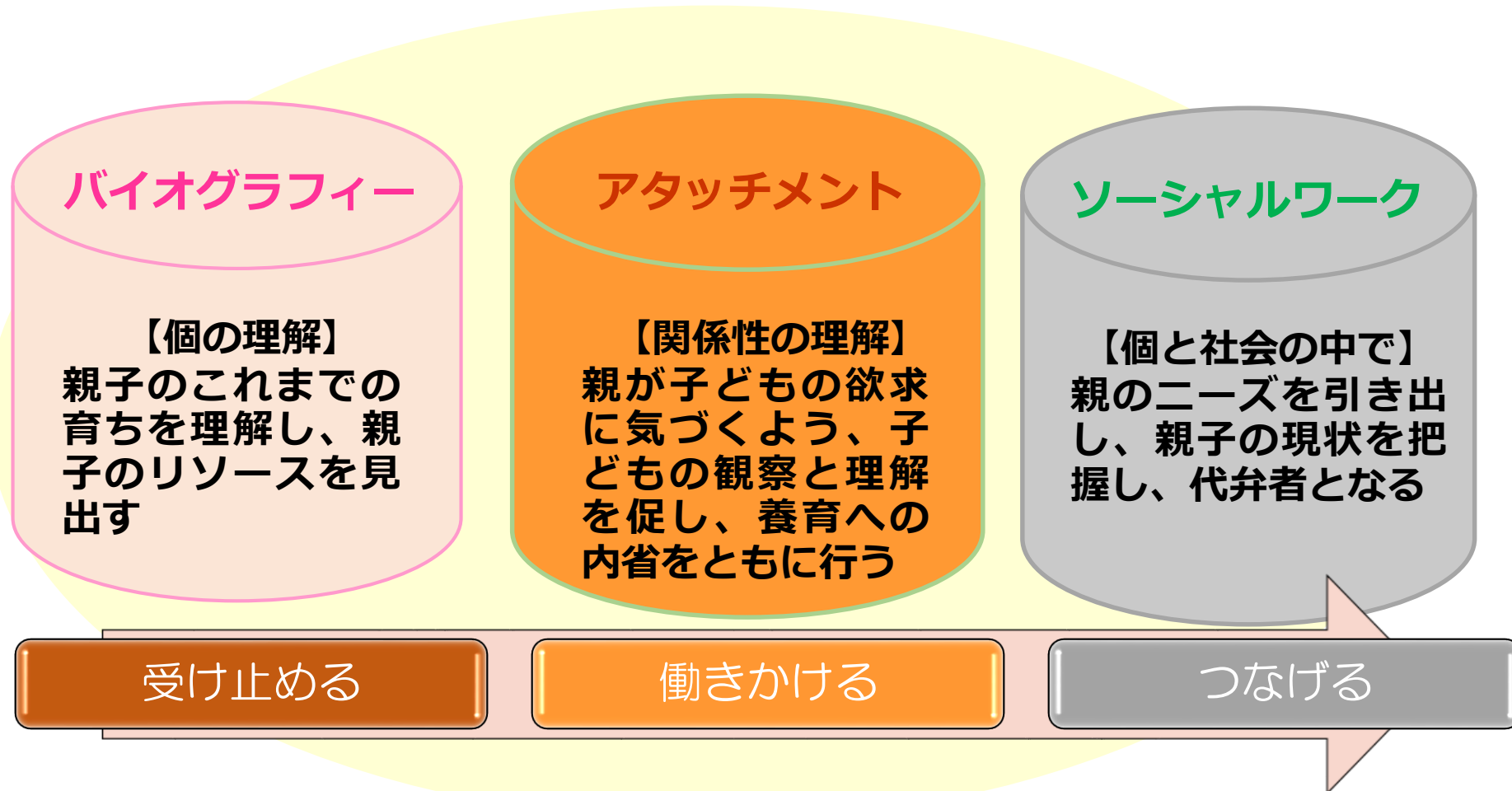
* 分離～自立に向かう中、子どものライフステージごとに
親子関係の整理を行う

* 「子どもの人生」というスパンで今の支援を考える

プログラムの依拠するところ



「ふあり」を支える3本の柱



対象とする親子



乳幼児～小学生低学年の子どもとその親
(施設入所、里親委託中ケース・・・80～90%)

*性的虐待を除く

- 児童相談所との対立関係にあるAさん
- 面会に行っても子どもと関われないBさん
→児相や施設と異なる立場での支援が必要な人



適切な養育モデルを持たず、人とつながらない人たち

CRC親子プログラム ふあり

▶ 被虐待児とその親への支援「CRC親子プログラムふあり」

2007年より大阪府等の児童相談所の委託を受け、児童相談所・乳児院で実施

対象： 虐待をした親とその子ども（乳幼児～小学校低学年）
※性的虐待は除く

場所： 児童相談所、乳児院

形態： **親子一組ごとに実施** 親担当・子ども担当（CRC）

期間： **2週間に1回（隔週 曜日固定）1年間程度**

事前説明＋プログラム10回＋フォローアップ2回（年度内、翌年度）

ほっといっぴくの会（年2回）修了者への団体独自フォローアップ



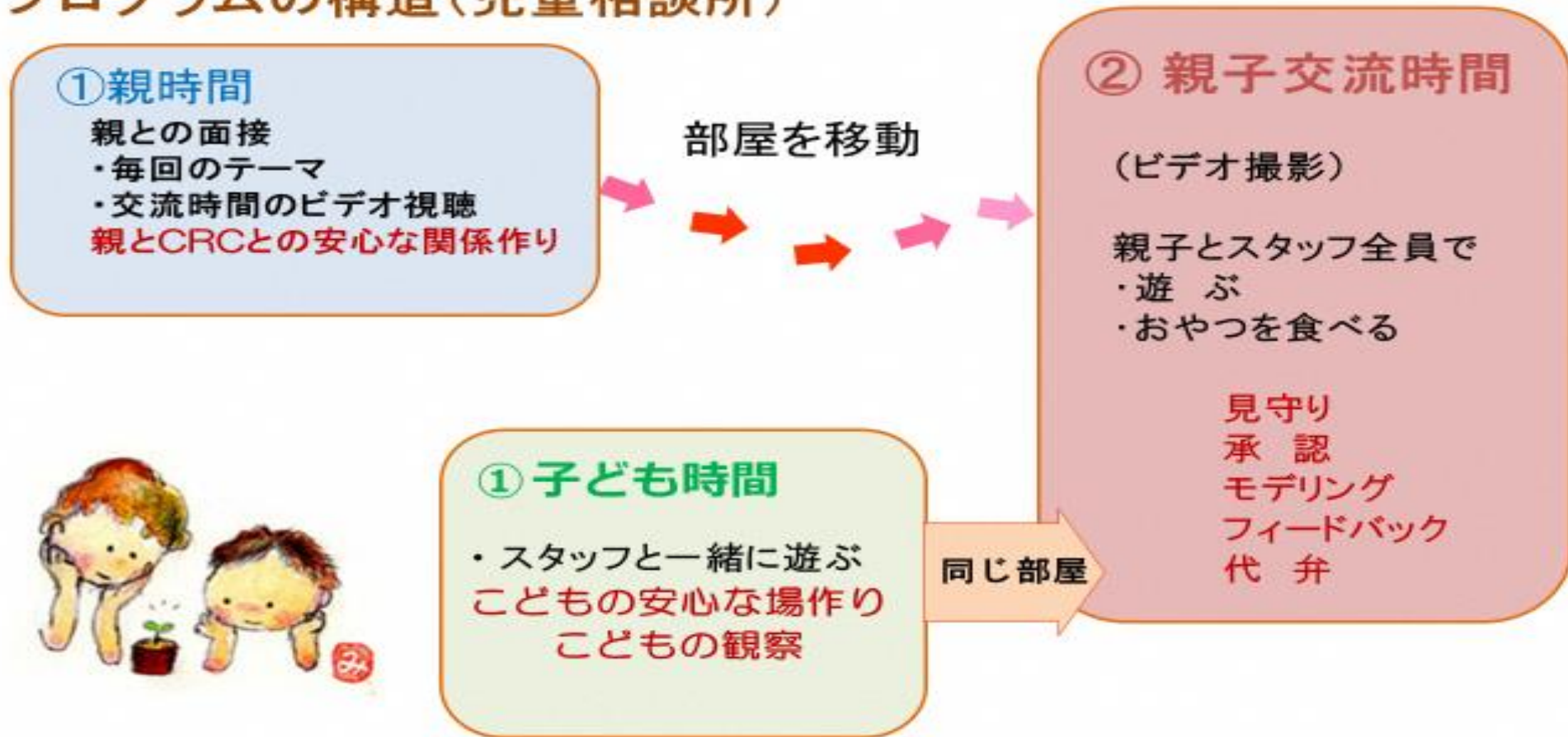
×治療プログラム
○心理教育プログラム

CRCプログラムの特徴

- *親子との共有体験
- *児童相談所、施設、里親との連携の中で実施

CRC親子プログラムふぁり の 構成

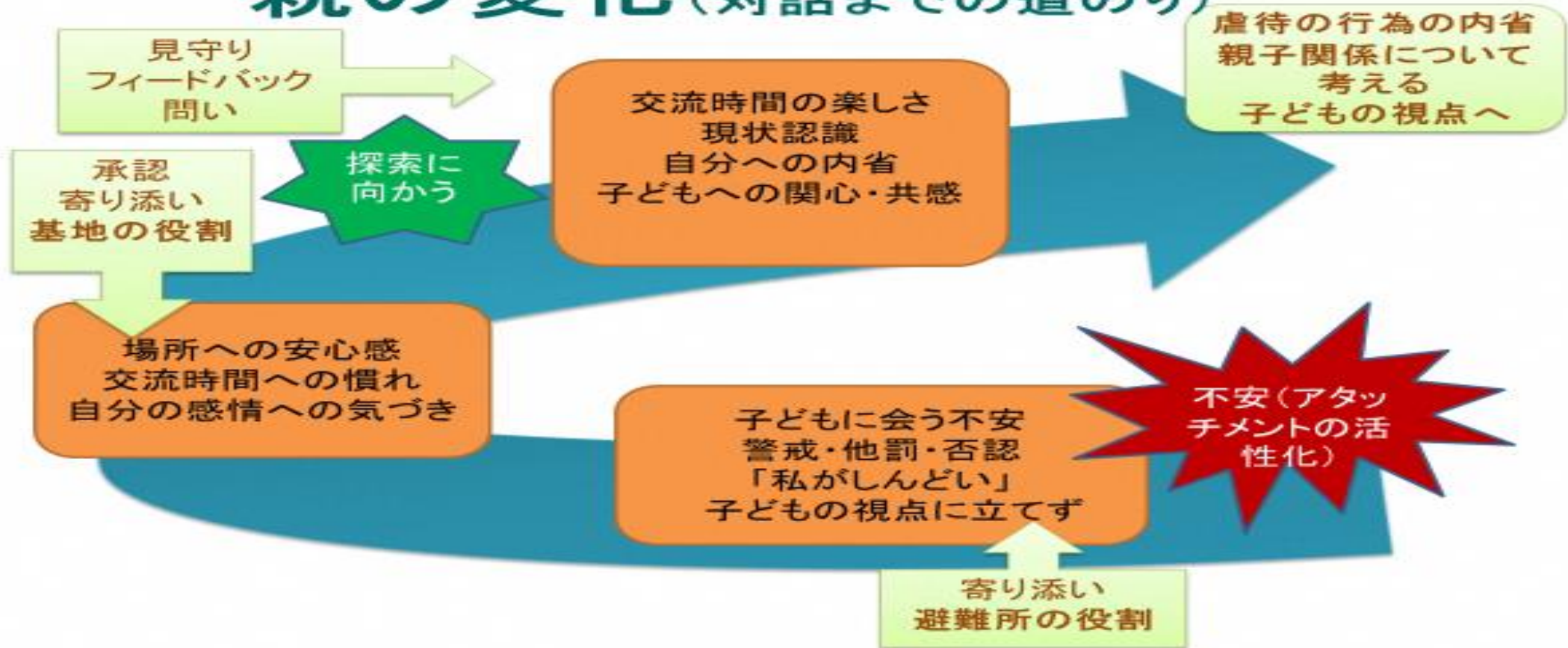
プログラムの構造(児童相談所)



親が子どもに向き合うために



親の変化（対話までの道のり）



「支援のため」のアセスメントへ

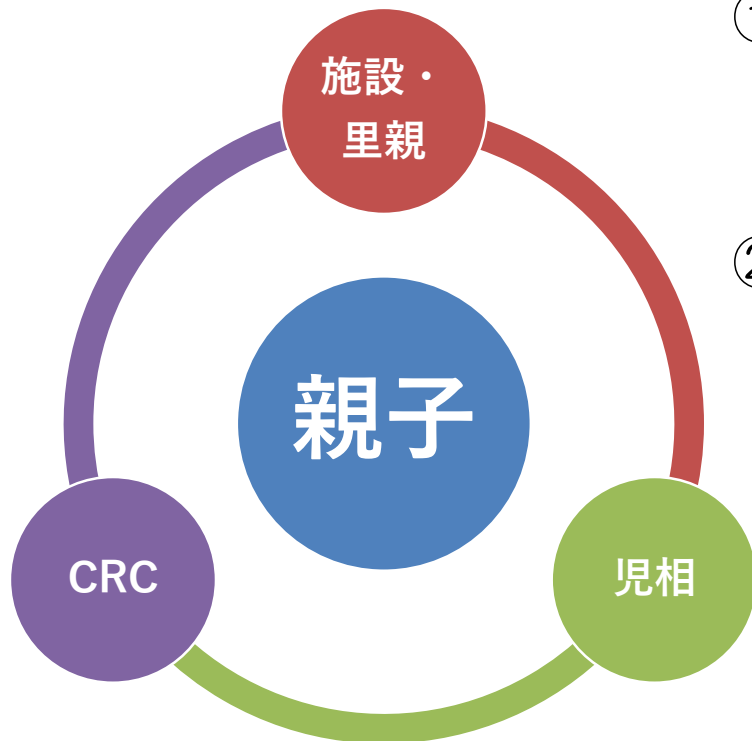


- プログラムの中で

親子理解

- 支援者間での「親子への理解と支援」の共有

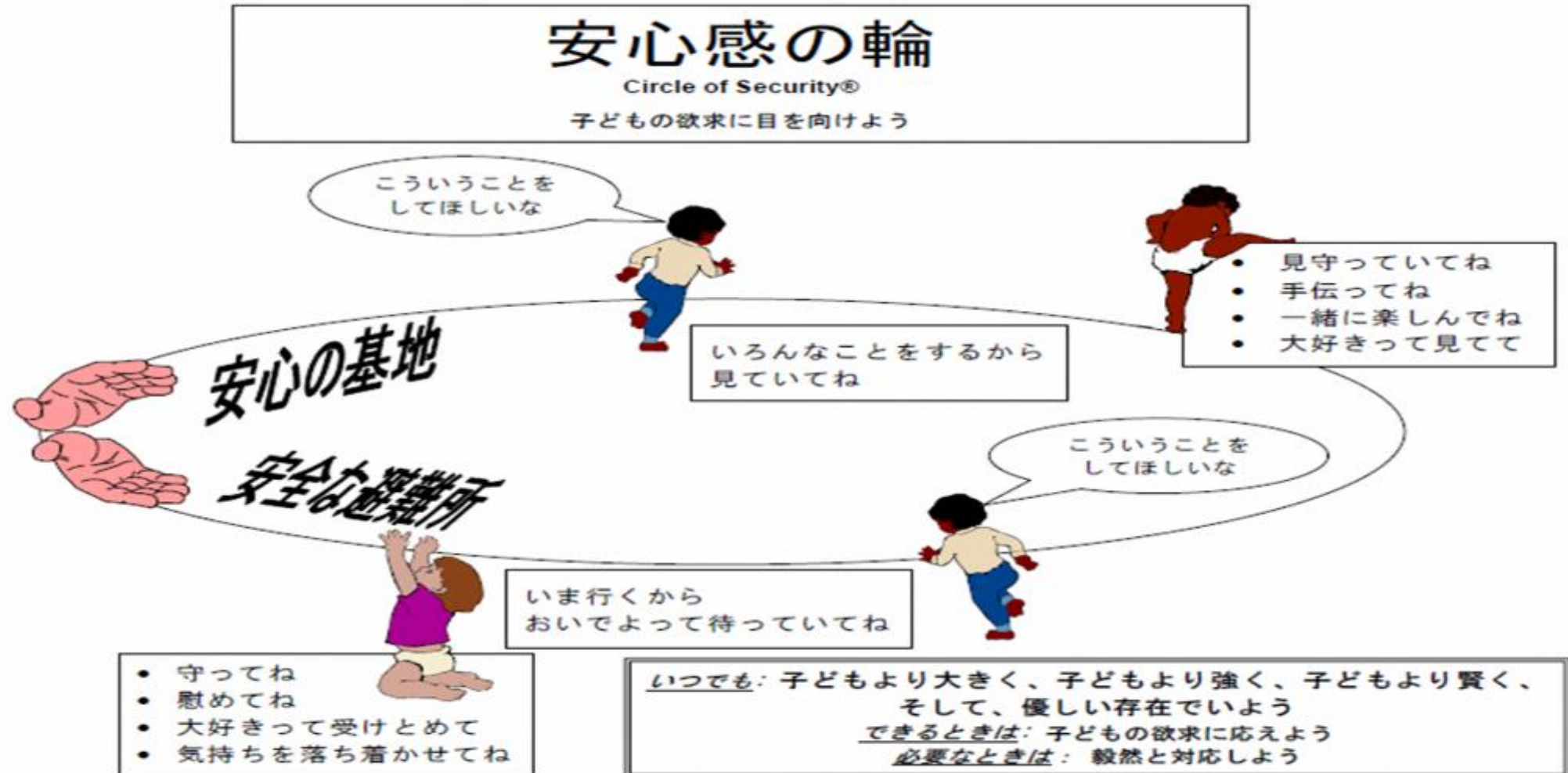
- ① プログラム中の連携作業
 - ・ 児相CWの同席（事前説明と最終回）
 - ・ 施設職員と里親送迎時の親子出会いと別れの共有
- ② 中間・最終カンファレンス



支援のためのアセスメント

この親子関係の共通認識を持つ

親も子も 「安心感」がないと生きていけない



NPO法人 チャイルド・リソース・センター(CRC)

子どもの持つ力や可能性ニチャイルド・リソースを
子ども自身や家族、子どもと関わる大人と共に発掘していくことを目的にする

1. 親子への支援

* 親子関係再構築支援

CRC親子プログラム ふぁりの提供
(児童相談所の委託)

* 「安心感の輪」子育てプログラムの
実施

(児相、市町村、母子生活支援施設)



2. 社会的養護に関わる人々が 学び・つながる場作り

* 研修会開催 研修講師派遣

* CRC親子プログラム ふぁりFA養成とSV

* FDW (Family Development Worker養成
講座)

* 「安心感の輪」子育てプログラムの
提供

(施設職員向け)